

水産物の市況について(令和3年11月及び令和3年12月)

—東京都中央卸売市場における令和3年11月(令和3年10月21日～令和3年11月20日集計)の市況と、
令和3年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和3年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月より増加し、前年同月比も増加で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から強含みで推移し、前年同月比からやや強含みで推移しました。

II 令和3年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

産地の水揚量はやや増加すると予想されるものの、鮮魚サイズの割合が少なく、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体にやや増加し、チリ銀ざけの輸入価格が上昇していることもあり、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

漁期終盤であることから、東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

水揚げは低調な状態が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格は冷めばち・きはだを主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

漁期終盤であることから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

漁期終盤であることから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	33	1,232	30	1,153	28	1,093
前年	32	1,116	30	1,111	30	1,069

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	447	96	83	98
さけ類(平均)	1,056	112	121	109
(ぎんざけ塩蔵品)	1,003	108	125	106
(あきさけ塩蔵品)	756	82	93	83
(べにざけ塩蔵品)	1,281	90	104	100
(さけ類冷凍品)	1,082	116	126	116
さば(生鮮品)	485	93	106	98
するめいか(平均)	1,122	125	134	128
(生鮮品)	1,269	141	137	135
(冷凍品)	859	100	166	114
あじ(生鮮品)	689	126	139	129
まぐろ(冷凍品)	1,788	108	126	117
(めばち冷凍品)	1,333	103	132	115
(きはだ冷凍品)	1,001	92	101	104
(くろまぐろ冷凍品)	3,372	109	116	104
(みなみまぐろ冷凍品)	1,995	102	119	103
かつお(生鮮品)	717	129	83	72
さんま(生鮮品)	979	85	132	192

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:11月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年～令和2年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613